

2024年3月期

第2四半期決算説明資料

株式会社 コンフィデンス・インターワークス

証券コード：7374



INDEX

目次

- | | |
|-----------|--|
| 01 | エグゼクティブサマリー _____ P. 3
Executive Summary |
| 02 | 当社の概要 _____ P. 7
Company Overview |
| 03 | 連結及びセグメント業績 _____ P. 13
Consolidated Financial Results and Segment Results |
| 04 | 株主還元 _____ P. 25
Dividend Distribution |
| 05 | 成長戦略の進捗／事業トピック _____ P. 27
Progress of Growth Strategies／Business Topics |

01

エグゼクティブ・サマリー

Executive Summary

2024年3月期 第2四半期 決算ハイライト

- 8月1日付けの株式会社インターワークスとの合併により、当第2四半期累計決算は、**前年同期比で売上高、売上総利益とも大きく増加**
- 合併に伴うのれん償却費が生じているものの、営業利益についても継続して増益。営業利益率も**17.3%**と、高水準を維持した形で着地

2Q 実績

売上高

3,249 百万円

前年同期比 **27.7%** 

売上高CAGR **26.9%**

売上総利益

1,350 百万円

前年同期比 **49.5%** 

売上総利益率 **41.6%**

営業利益

561 百万円

前年同期比 **12.2%** 

営業利益率 **17.3%**

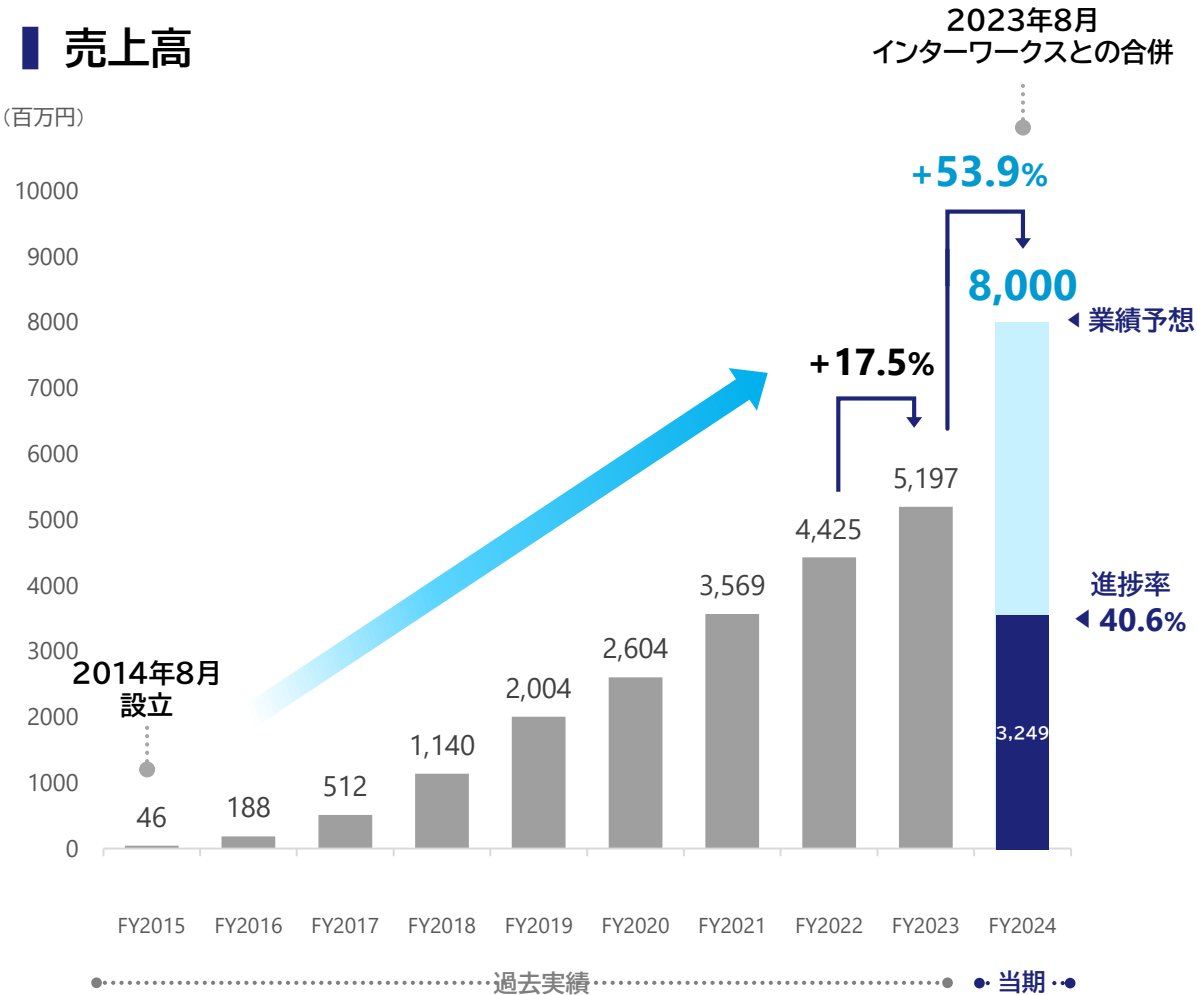
* 売上高CAGRは、19/3→23/3の実績値に基づき算出

売上高 | 営業利益の経年推移

- インターワークスとの合併により、8月以降、インターワークスの業績を統合
- 当第1四半期決算発表時に公表した通期業績予想に対しての進捗率は、**売上高 40.6%**、**営業利益 50.2%**で、概ね計画通りに進捗

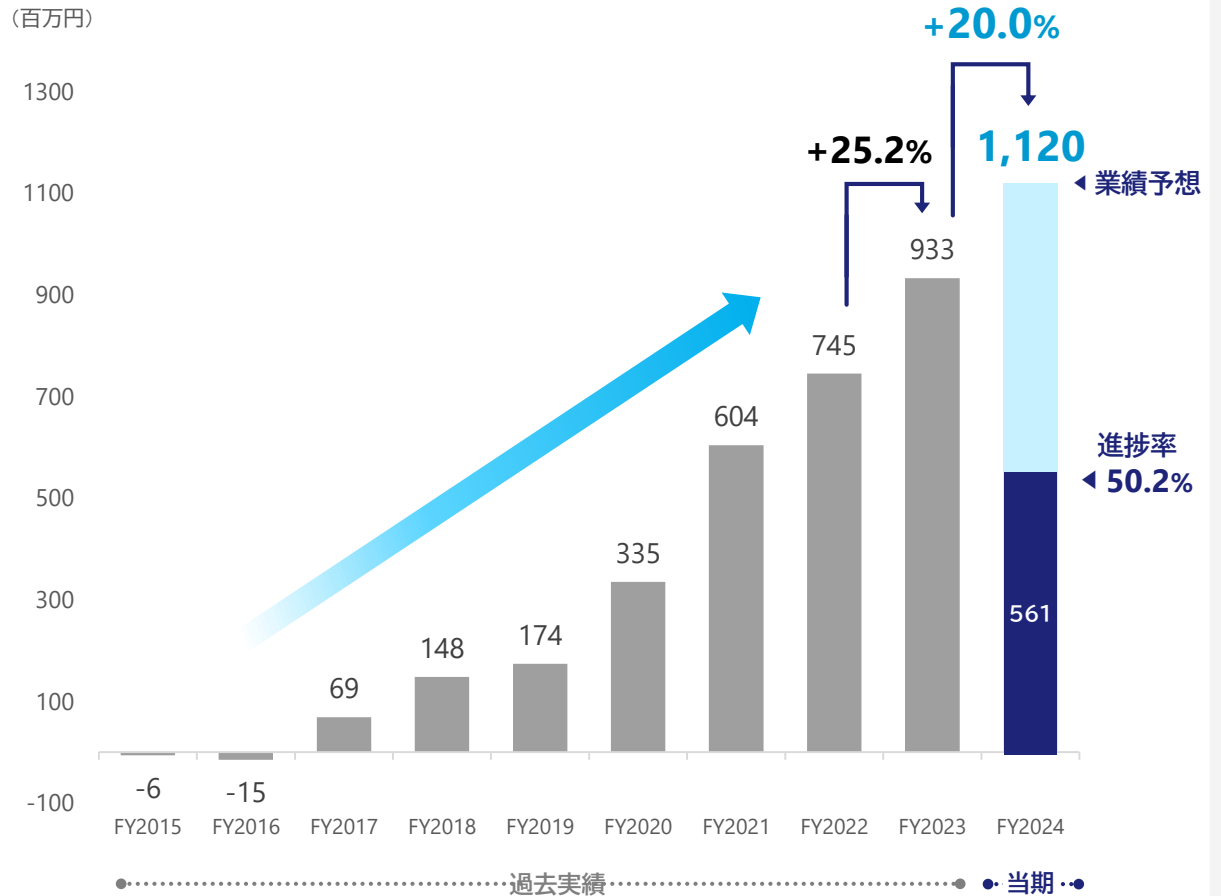
売上高

(百万円)



営業利益

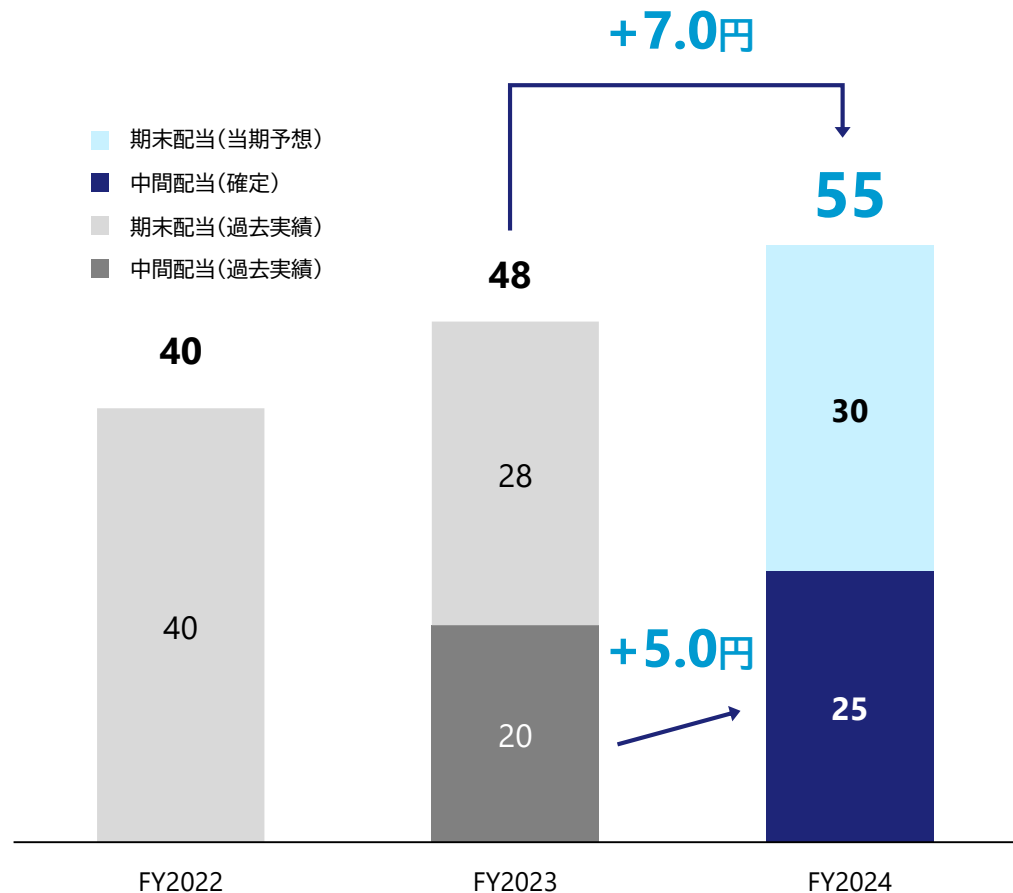
(百万円)



2024年3月期 配当予想サマリ

- 2024年3月期通期の配当は、**前期比 +7円増配**の**55円**を予想。中間配当は、**25円**で前年同期比 **+5円**の**増配**にて決定
- 現在の通期予想を前提とした、配当関係の各指標は以下を参照

1株当たり配当単価の推移



配当関係指標サマリ

配当性向	46.4% (予想)	前年実績 35.6%
DOE	8.7% (予想)	前年実績 12.1%
配当利回り	3.4% (予想/概算:9月末株価)	2023/3末時点 2.6%

* 配当利回りの計算基礎となるEPSは、2024年3月期通期公表値を基に概算

02

当社の概要

Company Overview



【2023年8月1日付】株式会社インターワークスとの合併について

- 両社の株主総会での承認議決を経て、2023年8月1日より、株式会社コンフィデンス・インターワークス(証券コード:7374)として始動
- 当合併により、のれんが約16.4億円発生しており、当期におけるのれん償却負担額は約1.1億円(8か月分)、来期以降は約1.6億円のPL計上予定

2023年8月1日～

新会社



Confidence Interworks

株式会社コンフィデンス・インターワークス

吸収合併存続会社



合併比率

1 : 0.205



吸収合併

吸収合併消滅会社



Vision

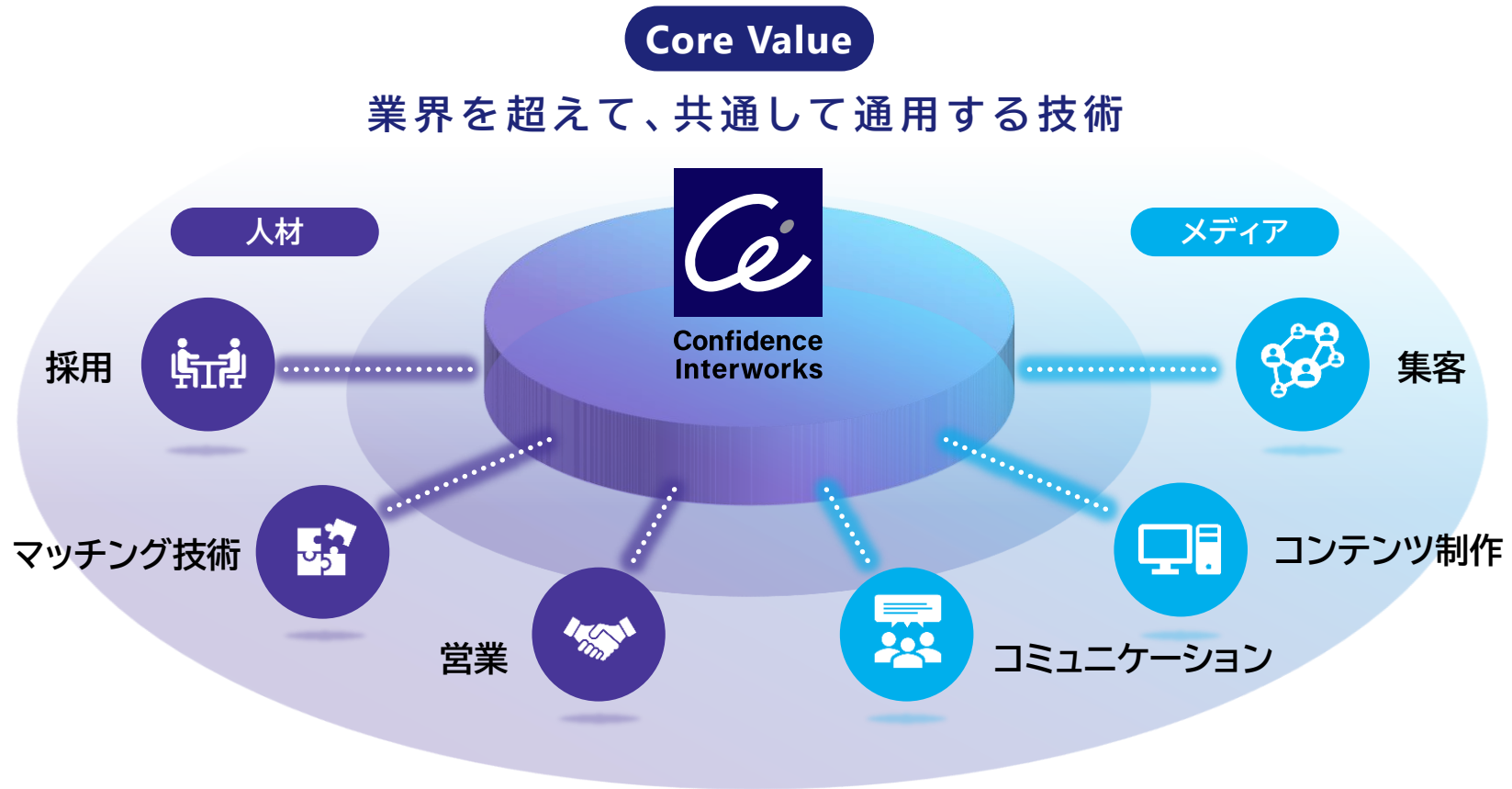
プロフェッショナルの力と 可能性を信じ、共に未来を創り出す

私たちは、多様性を増す社会で活躍する、
多くのプロフェッショナルの方々の
夢の実現をサポートするとともに、
その所属企業や業界、社会の成長・発展に貢献し、
可能性に満ちあふれる社会の実現を目指します

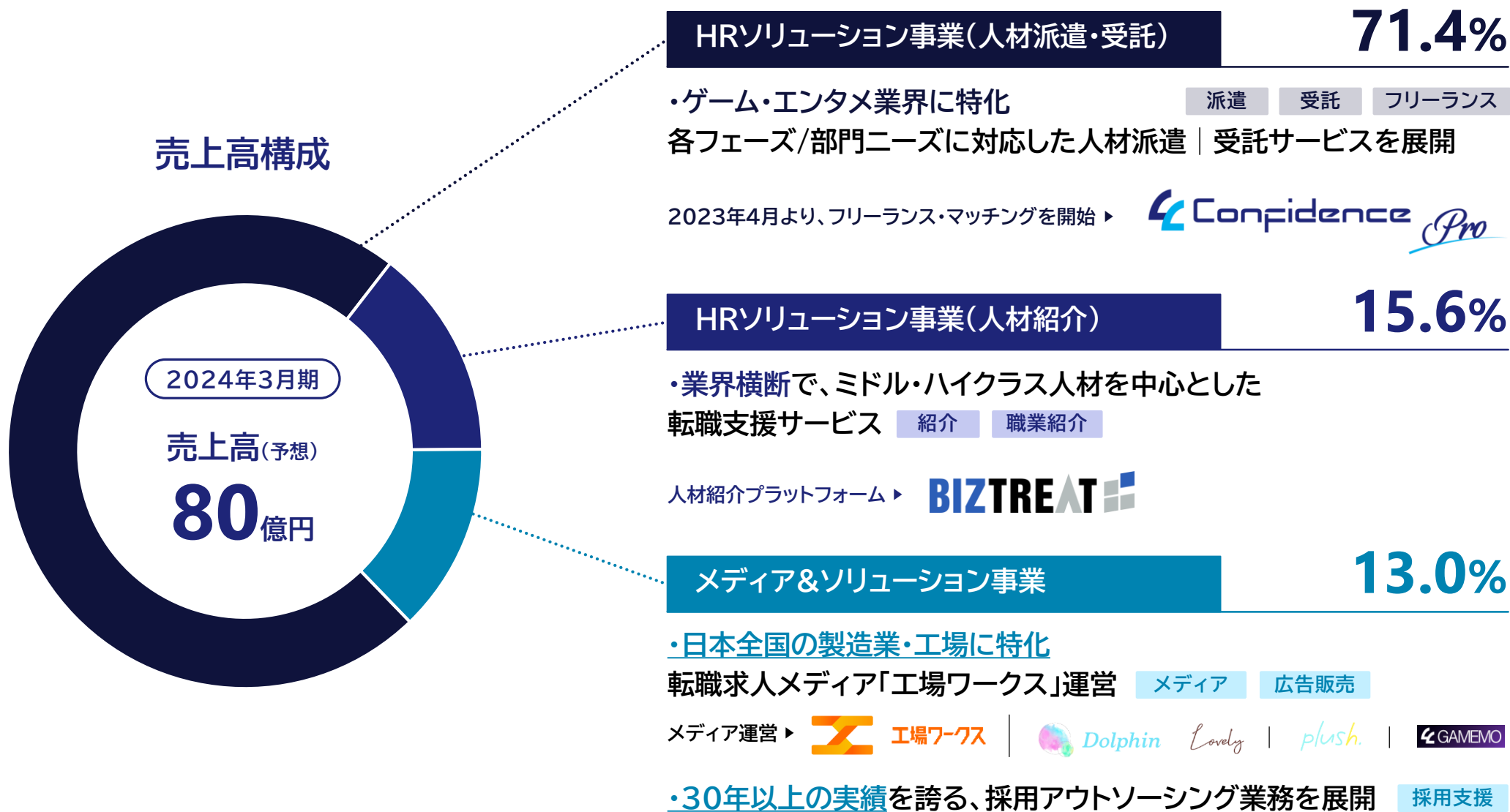


会社名	株式会社 コンフィデンス・インターワークス			
代表者	代表取締役社長 澤岷 宣之			
設立	2014年8月			
本社	東京都新宿区新宿2丁目19番1号 ビッグス新宿ビル10階			
地方拠点	名古屋 大阪 福岡			
連結子会社	株式会社 Dolphin		株式会社 コンフィデンス・プロ	
役員	代表取締役社長	澤岷 宣之	専務取締役	吉川 拓朗
	常務取締役	工藤 政嗣	取締役	永井 晃司
	社外取締役	雨宮 玲於奈	社外取締役	水谷 翠
	社外取締役	三木 寛文	社外取締役	早川 与規
	常勤監査役(社外)	谷地 孝	監査役(社外)	安國 忠彦
	監査役(社外)	藤森 健也	監査役(社外)	丸田 善崇
資本金	509百万円(2023年9月末時点)			
事業内容	HRソリューション事業(人材派遣・受託・人材紹介)、メディア&ソリューション事業			
従業員数	1,192名(2023年9月末時点)【連結】			

セグメント特化型のHRビジネス※を展開



※HRビジネス：Staffing(派遣)、Recruitment(人材紹介)、Outsourcing(受託)、Media(求人広告/メディア運営)の総称



事業概要 | 合併後のセグメント区分について

- 合併に伴い、下図の通りセグメント及びサービス区分の変更を実施し、2024年3月期第2四半期決算より新セグメント区分にて報告

合併前 : 各社セグメント区分



人材事業

派遣

受託

紹介

フリーランス

メディア事業

メディア

メディア&
ソリューション事業

広告販売

人材紹介事業

職業紹介

採用支援事業

採用支援



合併後 : 新セグメント区分

 **Confidence Interworks**

1

HRソリューション事業
(人材派遣・受託)

派遣

受託

フリーランス

2

HRソリューション事業
(人材紹介)

紹介

職業紹介

3

メディア&ソリューション事業

メディア

広告販売

採用支援

03

連結及びセグメント業績

Consolidated Financial Results and Segment Results

[全社連結 | 2Q累計]2024年3月期 決算ハイライト

- 2023/8/1のインターワークスとの合併後初めての決算、[のれん償却費計上後においても営業利益ベースで順調に成長して着地](#)
- 経常利益について、前年同期比で微増であるものの、合併にかかるアドバイザー報酬によるものが大半であり、当第2四半期までの一過性の影響

2Q 実績

▼インターワークス分については、8月～9月分の2か月分を計上

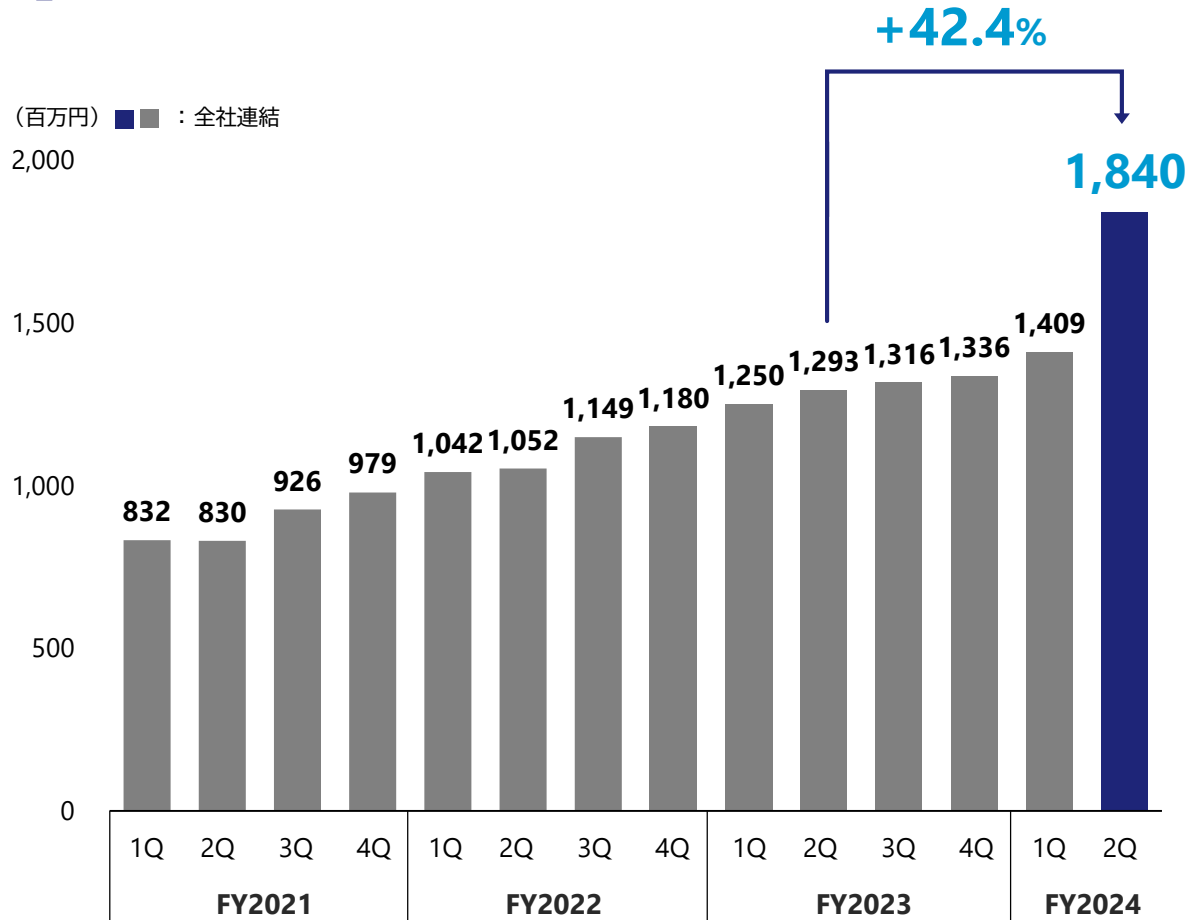
	2023年3月期 (2Q)	2024年3月期 (2Q)	前年同期比	業績予想 (2023/8/10公表)	進捗率
売上高	2,544	3,249	+27.7%	8,000	40.6%
売上総利益	903	1,350	+49.5%	3,718	36.3%
売上総利益率	35.5%	41.6%	+6.1pts	46.5%	-
営業利益	501	561	+12.2%	1,120	50.2%
営業利益率	19.7%	17.3%	▲2.4pts	14.0%	-
経常利益	500	510	+2.1%	1,065	48.0%
当期純利益	339	337	▲0.5%	725	46.6%
(参考)EBITDA *	516	599	+15.9%	1,158	51.7%
EBITDAマージン	20.3%	18.4%	▲1.9pts	14.5%	-

* EBITDA=営業利益+(減価償却費+のれん償却費) | EBITDAマージン=EBITDA÷売上高

[全社連結 | 四半期]業績推移

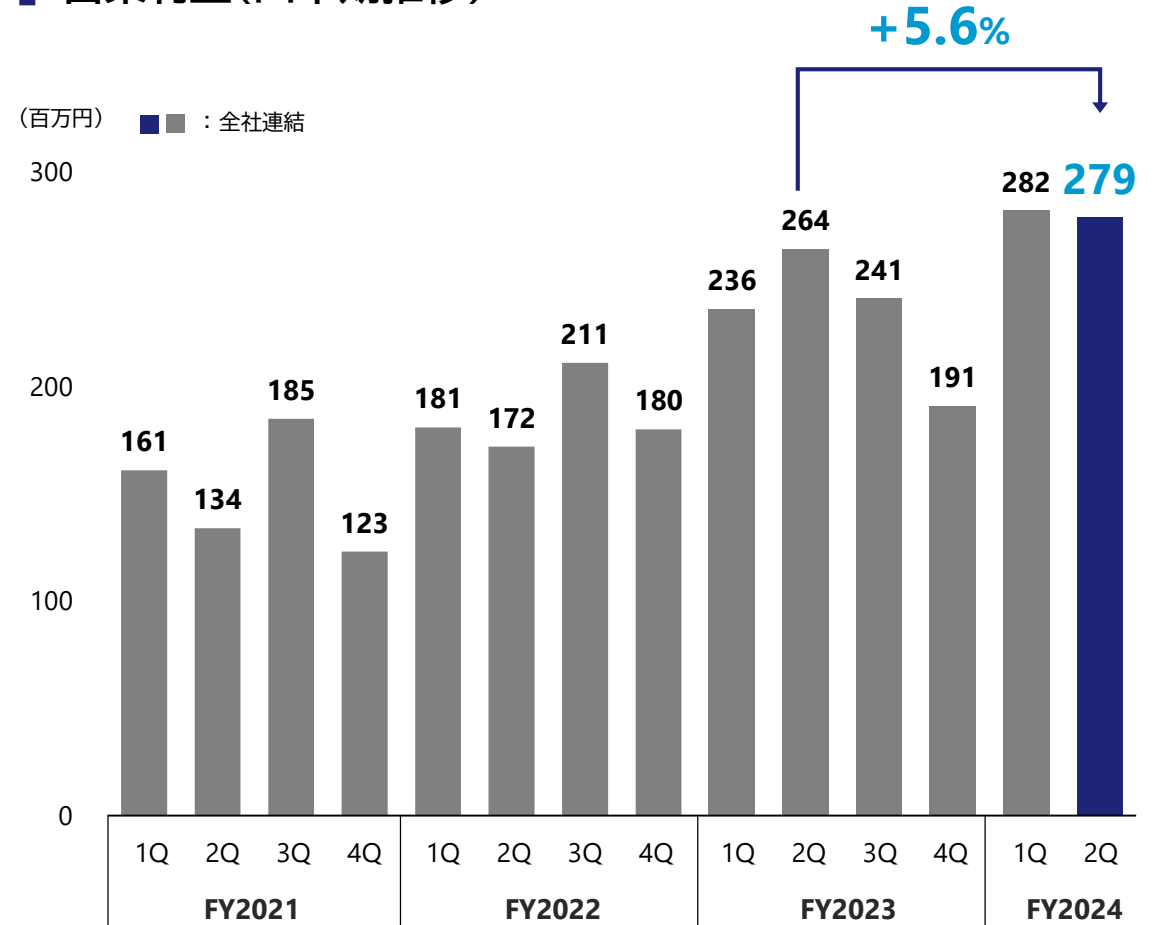
- インターワークスとの合併により、当2Q売上高は大幅に増加。合併効果を除いた旧コンフィデンスにおいても、前年同期比**10.2%の増収**で着地
- 営業利益についても、のれん償却費を加味した上で、前年同期比 **+5.6%**と堅調に推移

■ 売上高(四半期推移)



* 連結相殺消去後の数値を記載

■ 営業利益(四半期推移)



[HRソリューション事業_派遣・受託 | 2Q] 2024年3月期 決算ハイライト

- 当セグメントは、旧コンフィデンスの人材事業が大部分を占める
- 主力の派遣事業において、クリエイター派遣配属数を着実に増加させ、高水準の利益率を維持。売上高、セグメント利益とも成長を継続

2Q 実績

▼新しいセグメントへの組替後の数値

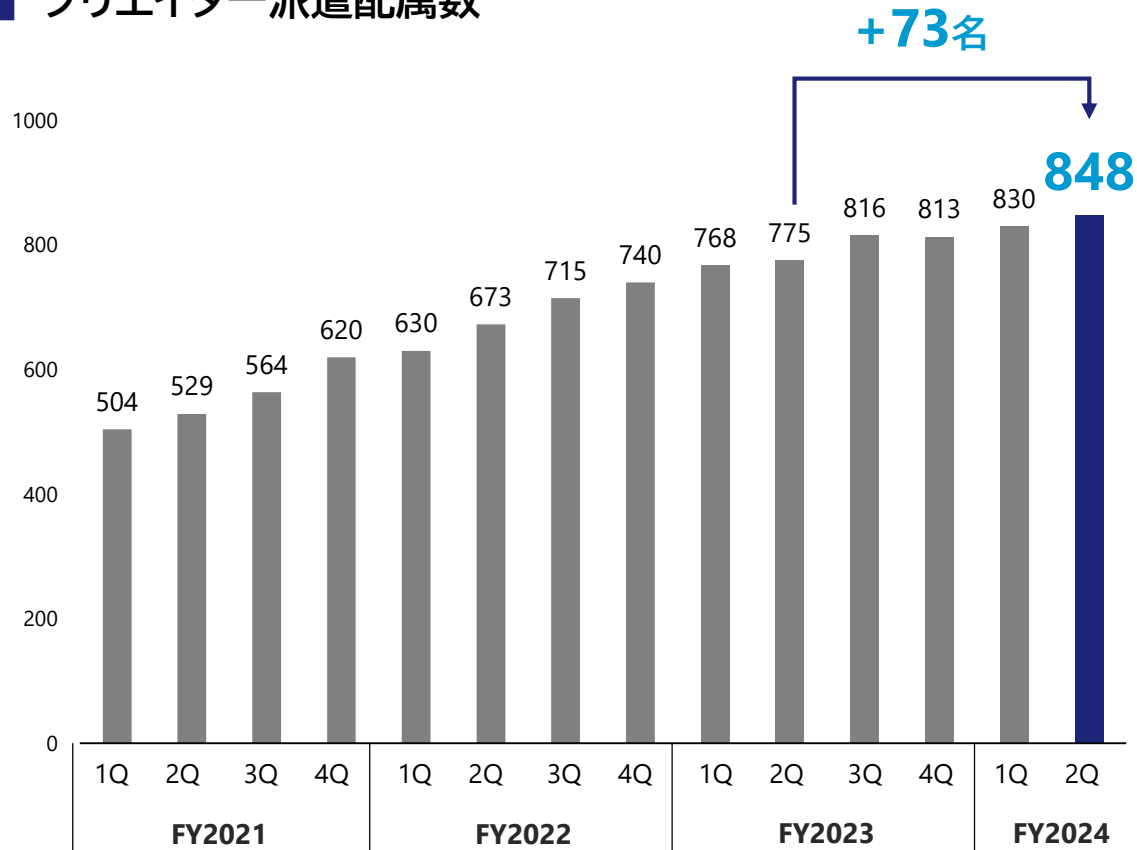
(百万円)	2023年3月期 (2Q)	2024年3月期 (2Q)	前年同期比	業績予想 (2023/8/10公表)	進捗率
売上高 *	2,495	2,760	+10.6%	5,714	48.3%
人材派遣	2,385	2,657	+11.4%	-	-
受託・その他	110	103	▲6.5%	-	-
売上総利益	864	962	+11.3%	-	-
売上総利益率	34.6%	34.9%	+0.3pts	-	-
セグメント利益	678	728	+7.3%	-	-
セグメント利益率	27.2%	26.4%	▲0.8pts	-	-

* 連結相殺消去後の数値を記載

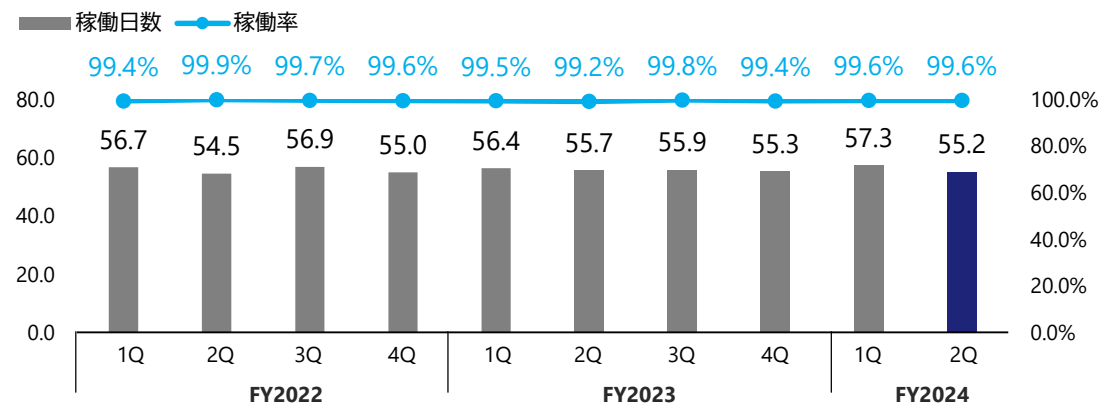
[HRソリューション事業_派遣]主要なKPIの推移

- スtock型収益モデルの基礎となるクリエイター派遣配属数を着実に増加させ、前年四半期末から+73名の増加
- クリエイターの稼働率は引き続き、高い水準を維持している状況

■ クリエイター派遣配属数

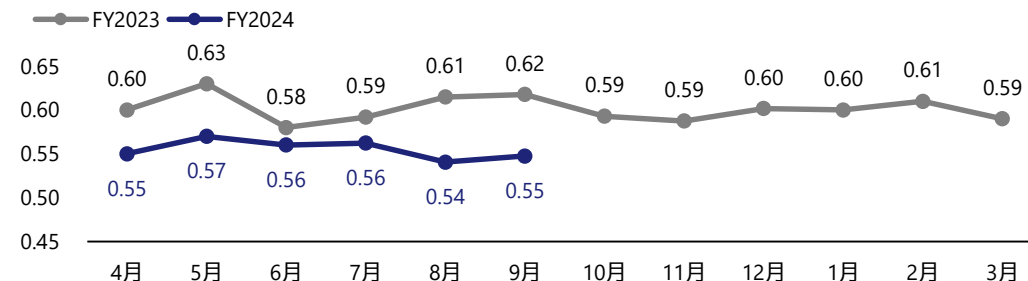


■ 稼働日数*1 / 稼働率*2



*1 月次での各人の勤務日数合計から月末時点での稼働人員数で除した日数の四半期合計
 *2 月末時点での派遣稼働数合計に対して、月末時点での稼働可能人員数合計で除した割合

■ 日次平均残業時間*の推移



* 月間の平均累計残業時間を平均実稼働日数で除算した日次平均

[HRソリューション事業_紹介 | 2Q] 2024年3月期 決算ハイライト

- 当セグメントは、旧インターワークスの人材紹介事業が大部分を占めるため、旧コンフィデンスのみの前年同期比較で大幅な増収、増益に
- 当2Qにおける旧インターワークスの寄与は2ヶ月間であるものの、紹介事業が大幅に強化されたことにより、[収益獲得の幅が拡大](#)

2Q 実績

▼当数値に関して、旧インターワークス分については、8月～9月分の2か月分を計上

	2023年3月期 (2Q)	2024年3月期 (2Q)	前年同期比	業績予想 (2023/8/10公表)	進捗率
売上高 *	21	256	+1083.5%	1,243	20.7%
人材紹介	21	256	+1083.5%	-	-
売上総利益	17	207	+1065.0%	-	-
売上総利益率	81.9%	80.6%	▲1.3pts	-	-
セグメント利益	6	85	+1252.9%	-	-
セグメント利益率	29.2%	33.3%	+4.1pts	-	-

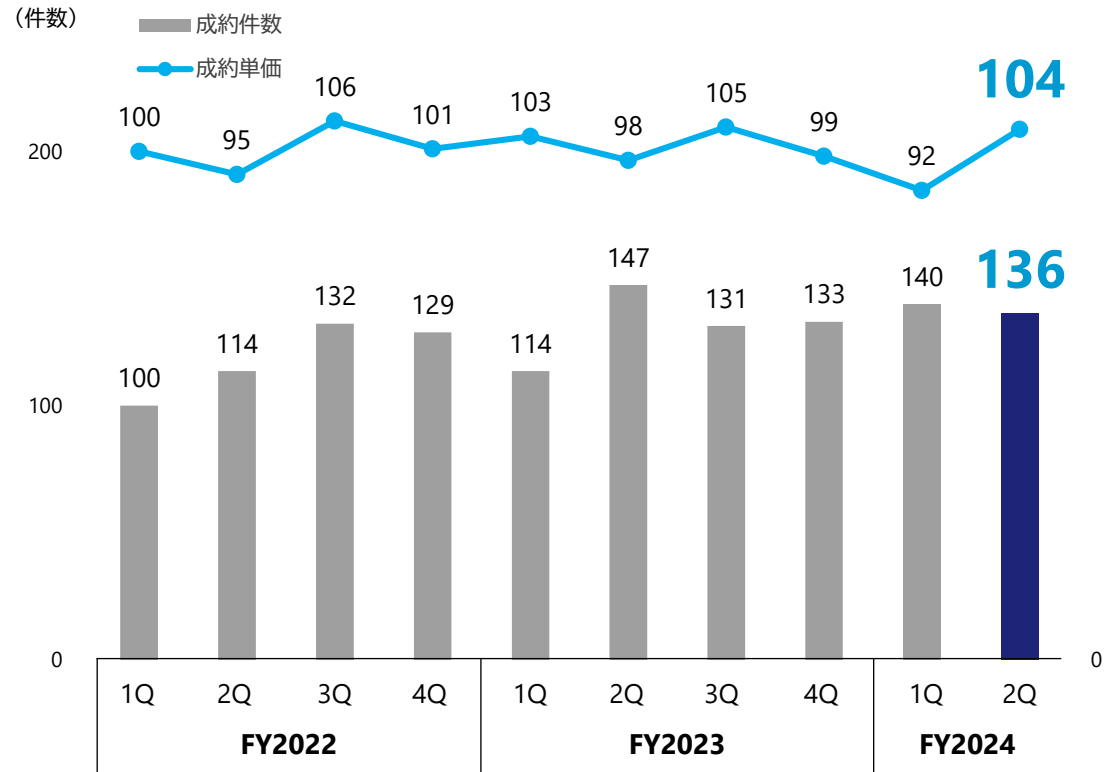
* 連結相殺消去後の数値を記載

[HRソリューション事業_紹介]主要なKPIの推移

- 当第2四半期の成約件数は 前四半期から回復基調にあり、平均成約単価も高水準を維持
- 高い生産性を維持しつつ、コンサルタント数の増員による売上拡大施策を継続。コンサルタント数は、2Q末での**各月末平均71名**まで増加

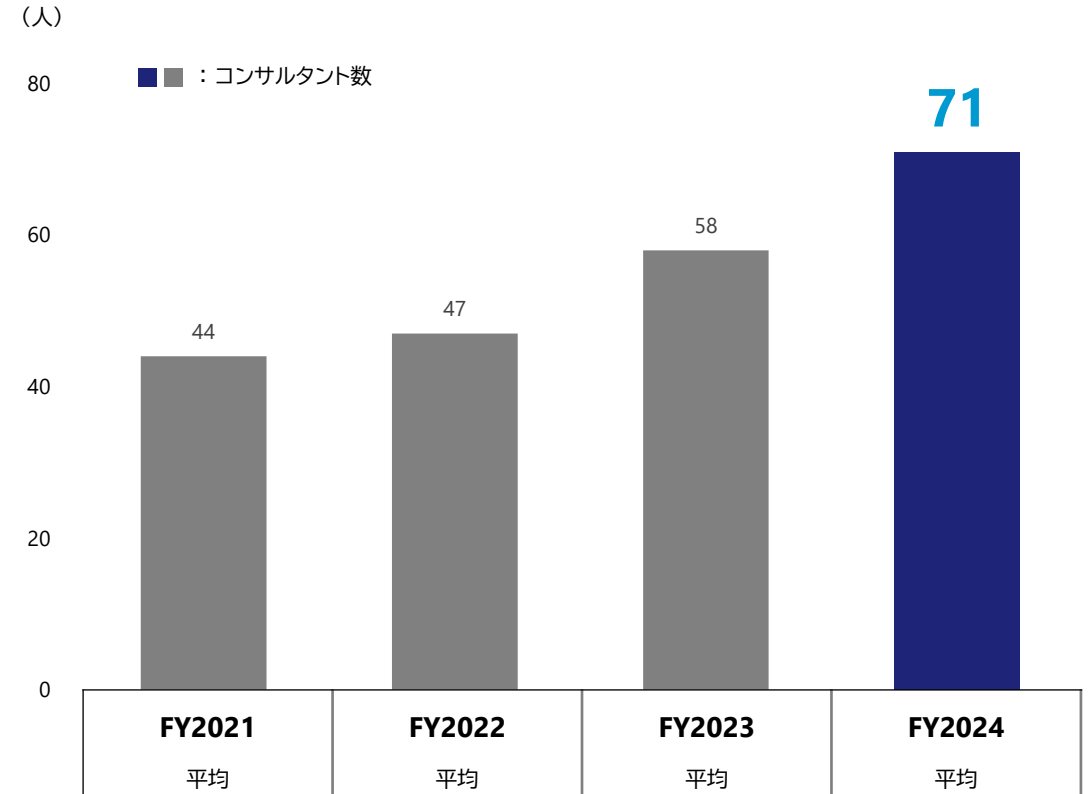
■ 成約件数・成約単価

成約単価：2022年3月期(1Q)を100とした場合の指数



■ コンサルタント数(平均)

*各月末のコンサルタント数の平均値にて算出



[メディア&ソリューション事業 | 2Q] 2024年3月期 決算ハイライト

- 当セグメントは、旧インターワークスのメディア&ソリューション事業が大部分を占めるため、旧コンフィデンスのみの前年同期比で大幅増収、増益
- 求人広告(工場ワークス)について、固定費の削減により損益分岐点を下げ、セグメント利益の安定確保を目指す

2Q 実績

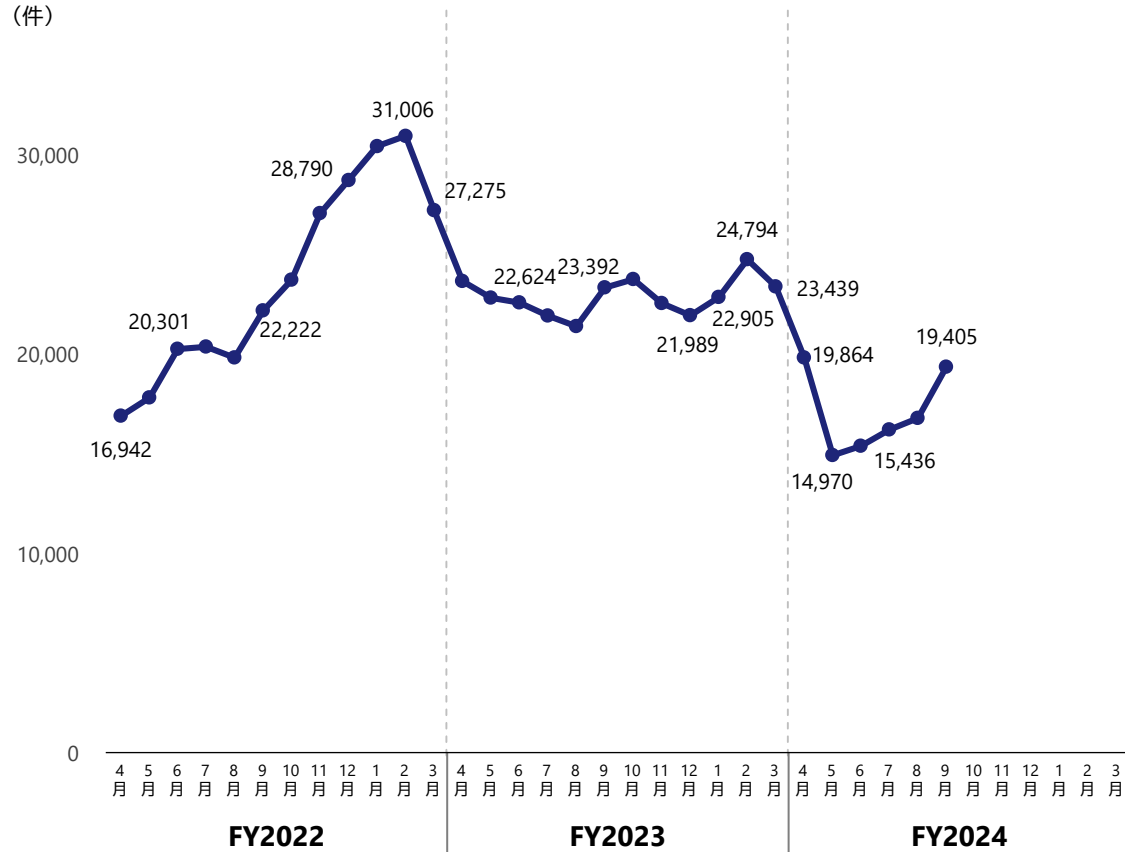
	2023年3月期 (2Q)	2024年3月期 (2Q)	前年同期比	業績予想 (2023/8/10公表)	進捗率
売上高 *	27	231	+754.4%	1,041	22.2%
求人広告	-	162	-	-	-
受託・その他	27	68	+153.7%	-	-
売上総利益	21	181	+754.6%	-	-
売上総利益率	78.1%	78.1%	±0.0pts	-	-
セグメント利益	13	53	+305.1%	-	-
セグメント利益率	48.3%	22.9%	▲25.4pts	-	-

* 連結相殺消去後の数値を記載

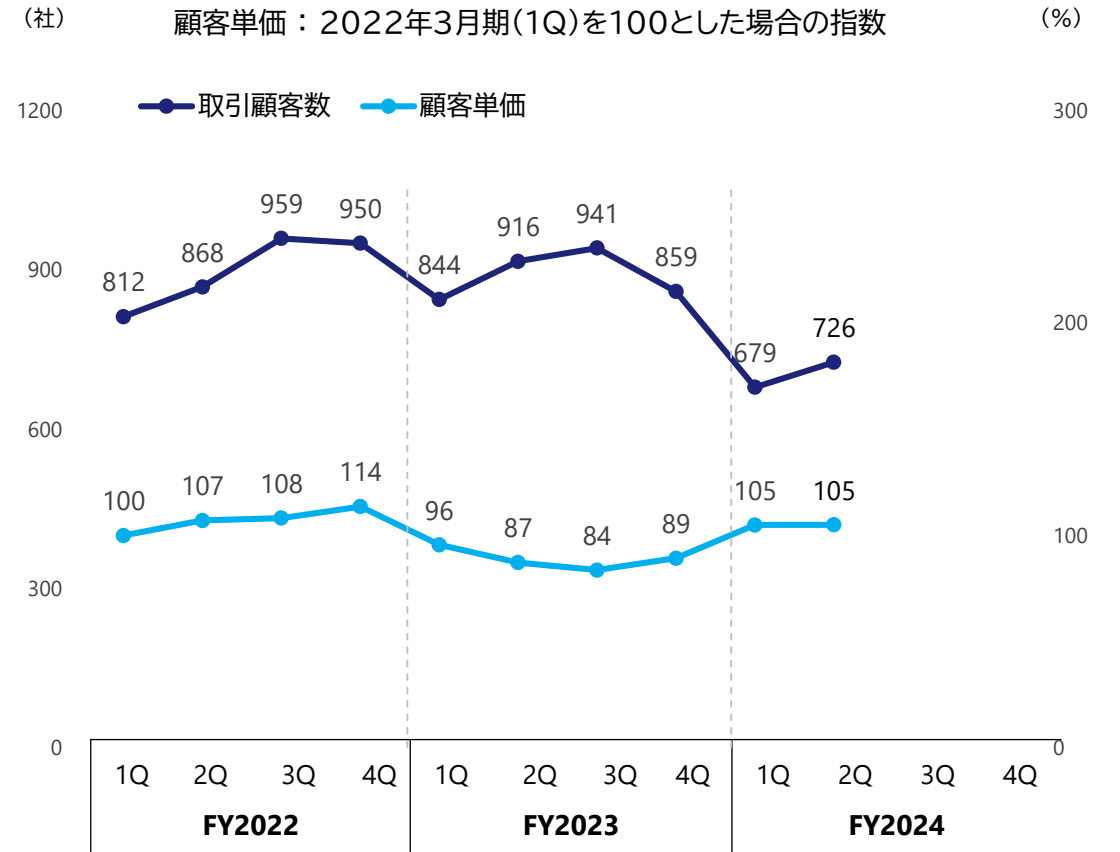
[メディア&ソリューション事業_求人広告]主要なKPIの推移

- 求人掲載件数は、5月以降、回復傾向。足元も増加トレンドを継続
- 取引顧客数も2Qは、1Q比 47件増加。顧客単価は、前年と比較し上昇トレンドにて推移

工場ワークス 求人掲載数



工場ワークス 取引顧客数・顧客単価

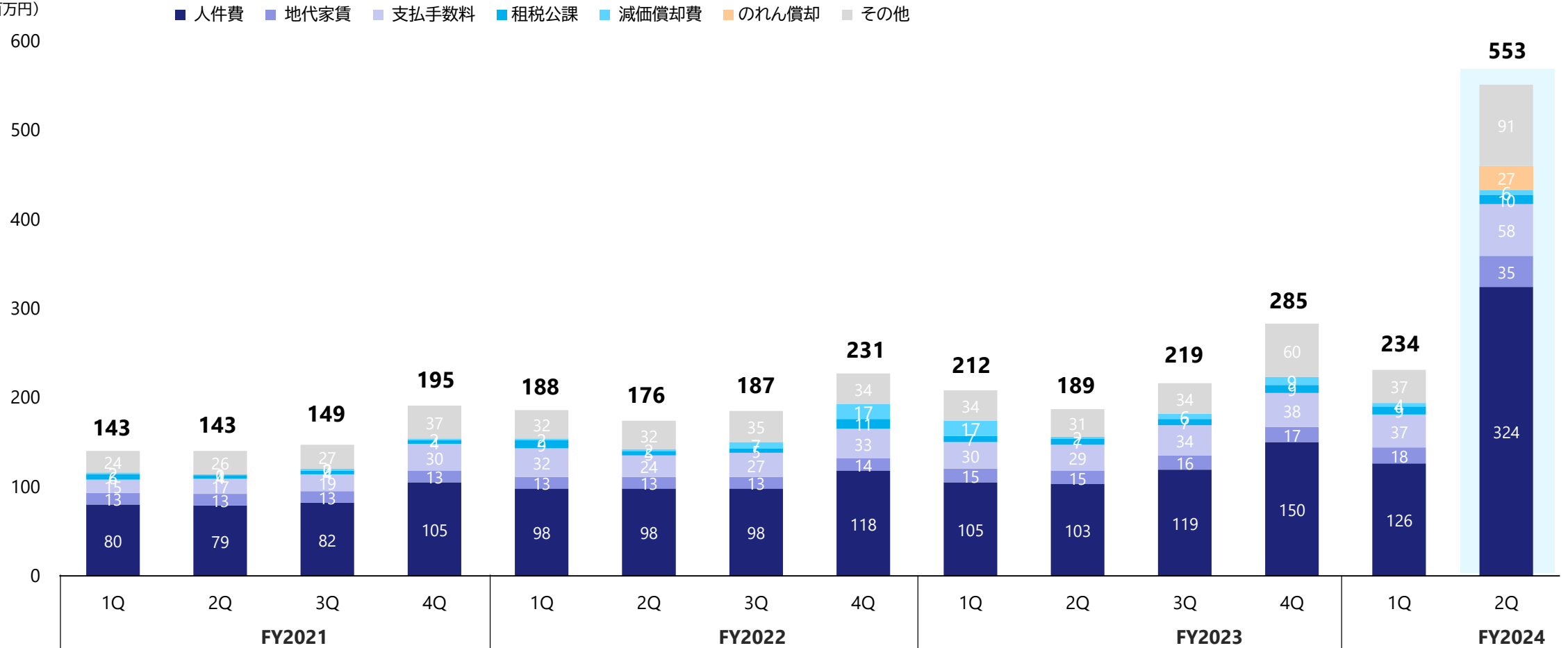


[全社連結 | 四半期]販売費及び一般管理費の推移

- インターワークスとの合併により、販売管理費の規模および構成が大幅に変化
- ただし、引き続きコストコントロールを徹底し、堅実に営業利益を創出する組織体制を合併後も変わらず継続

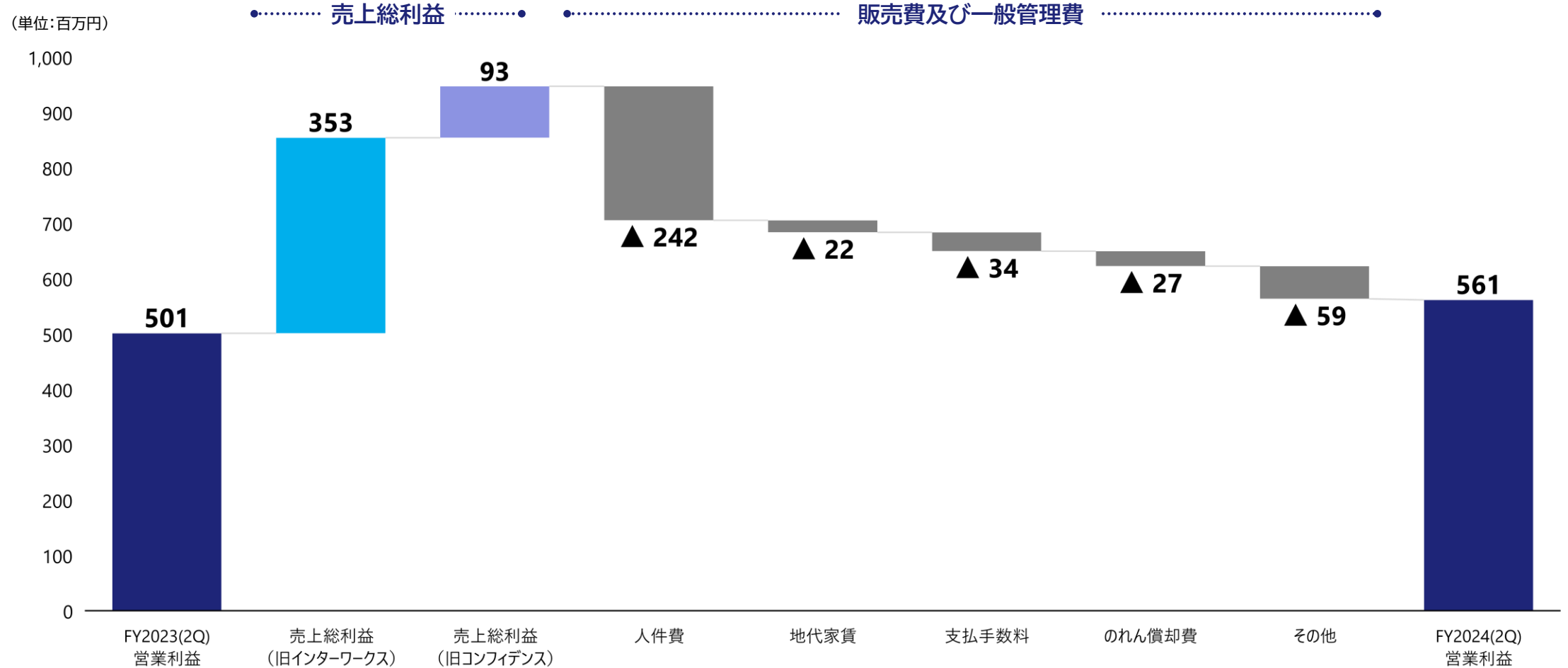
■ 四半期推移

(単位:百万円)



[全社連結] 営業利益の増減要因分析(対前年同期比)

- 合併により、インターワークス分の売上総利益／費用が追加。また、当第2四半期よりのれん償却費が発生するが、インターワークスの紹介、メディア&ソリューションの粗利貢献、合併によるバックオフィス費用の最適化等でコスト増分をこなし、増益を確保。3Q以降も同様の傾向が続く見込み

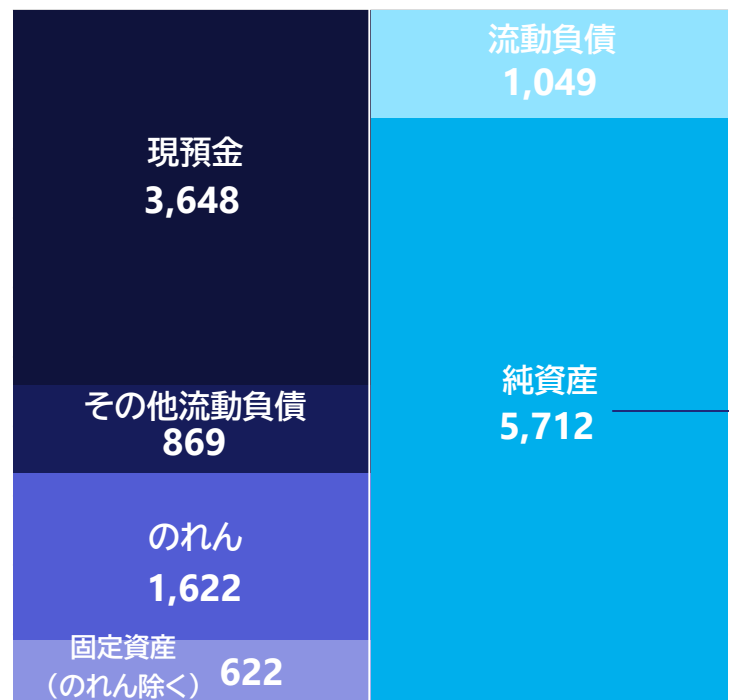


[全社連結]貸借対照表・キャッシュフロー計算書

- 合併により、前期末比、現金及び預金が+16.0億円、純資産が+36.8億円、総資産が+38.7億円増加(のれん:+16.2億円)
- ネットキャッシュは 36.4億円、自己資本比率は 84.2%で、引き続き、高い財務安定性を確保

FY2024 2Q末 B/S

(百万円)



資本金	509百万円
資本剰余金	3,882百万円
利益剰余金	1,312百万円
自己株式	△6百万円
新株予約権	15百万円

FY2024 2Q C/F

(百万円)

2023年3月末現預金残高	2,047
営業CF	+407
投資CF	▲29
財務CF *	▲156
合併に伴う現預金増加額	+1,378
現預金増減額	+1,600
2023年9月末現預金残高	3,648

* 配当金の支払額▲129百万円、借入金返済▲22百万円、その他▲4百万円

財務指標

ネットキャッシュ	36.4億円
自己資本比率	84.2%
ROE(参考) *	18.8%

* ROEの計算基礎となる当期純利益は、2024年3月期通期公表値を基に概算

04

株主還元

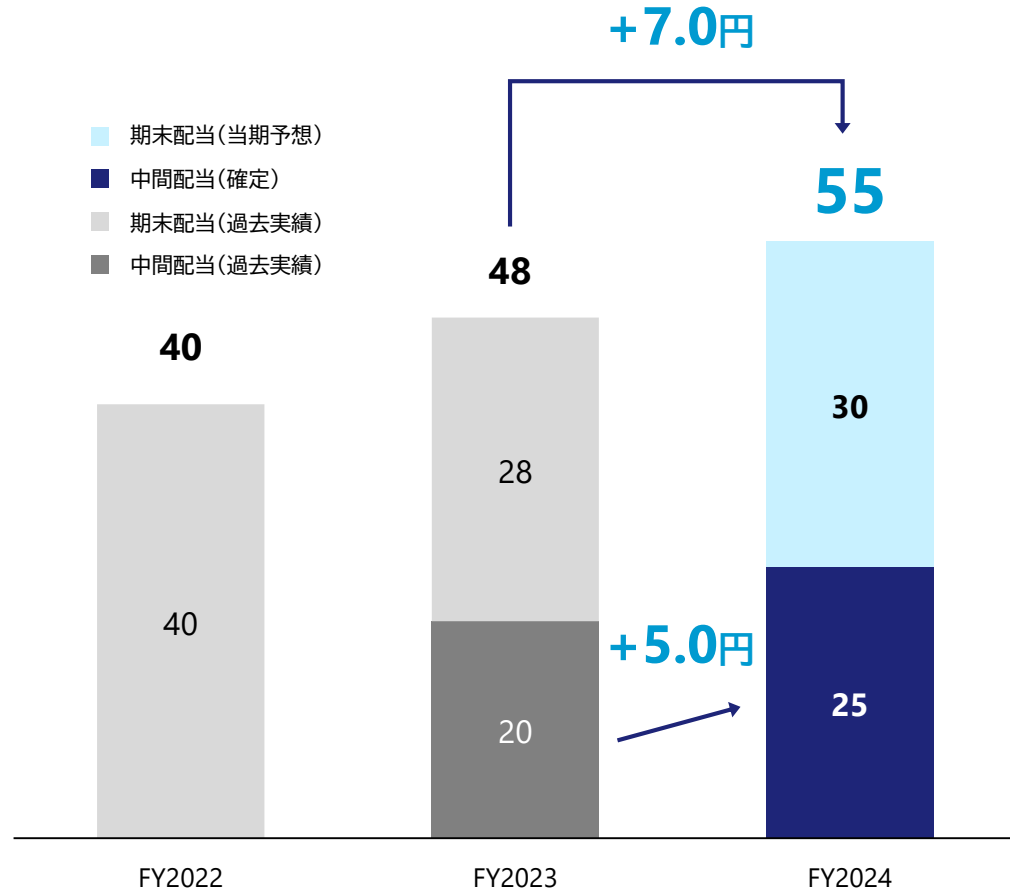
Dividend Distribution



2024年3月期 配当予想サマリ(再掲)

- 2024年3月期通期の配当は、**前期比 +7円増配**の**55円**を予想。中間配当は、**25円**で前年同期比 **+5円**の**増配**にて決定
- 現在の通期予想を前提とした、配当関係の各指標は以下を参照

1株当たり配当単価の推移



配当関係指標サマリ

配当性向	46.4% (予想)	前年実績 35.6%
DOE	8.7% (予想)	前年実績 12.1%
配当利回り	3.4% (予想/概算:9月末株価)	2023/3末時点 2.6%

* 配当利回りの計算基礎となるEPSは、2024年3月期通期公表値を基に概算

05

成長戦略の進捗／事業トピック

Progress of Growth Strategies／Business Topics

成長戦略の進捗／事業トピック

事業トピック Summary [2023年]

2024年3月期

PROTAGONIST



Confidence Pro

Indi



Web3.0×HR Techを手掛けるプロtagonistへ出資

「Web3 Connections Tokyo」開催

デジタルマーケティング領域における育成型人材サービスを開始

フリーランスマッチング専門の連結子会社「コンフィデンス・プロ」を設立

Indigames(オフショア活用のゲーム開発・3DCG受託等)への出資を実行

グリーアドバタイジングと共同で「ゲームDXフォーラム」を開催

2023/1/19

2023/2/13

2023/3/22

2023/4/3

2023/9/7

2023/10/24

2023/1/20

2023/3/1

2023/3/28

2023/8/1

2023/10/17

Glossom・西日本新聞社との協業により、デジタル人材育成による地域DX支援事業を開始



福岡支店開設、DXマーケティング領域への対応も強化



ビーグリーと業務提携、ゲーム業界特化のクリエイティブ制作支援・マーケティング事業を強化

Confidence x Beagle

統合新会社「株式会社コンフィデンス・インターワークス」として始動



Precious Analyticsとゲームプランナー育成講座を共同開発





マッチングソリューションの拡大

新領域への展開

Web3.0

メタバース

他領域

2023年9月7日プレスリリース

Confidence Interworks

× Indi

• オフショアを活用した ゲーム開発・3DCG受託 等を手掛ける

Indigamesへ出資

株式会社Indigamesの概要

ゲームビジネスをグローバルに展開しているゲーム開発会社

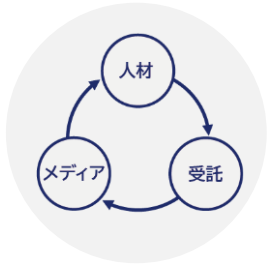
- ✓ ハイカジ・ライブゲーミング・NFT等のゲーム事業
- ✓ ベトナムオフショアを活用したCG制作事業
- ✓ Pythonを活用するゲームエンジン事業

出資の目的

- ✓ ベトナム拠点において、高度なCGアーティスト、エンジニアを抱え、豊富な受託実績を有するIndigamesとの連携
- ▼
- ✓ 国内の取引先企業の外注ニーズの対応範囲拡大
 - ✓ グローバルテック人材の確保や規模拡大



成長戦略：エコシステムの確立による経営効率向上



エコシステムの確立による
経営効率向上

人材

×

メディア

2023年9月29日プレスリリース

ゲームDXフォーラム開催

- ゲーム業界向け人材事業で培った顧客網

-ゲーム・エンタメ-
取引社数(累計)

230社超

※ 2023年3月期までの実績データを基に集計

- 当社運営メディア「GAMEMO」



- Glossom(グリー子会社)との
との連携によるDX支援



GREE Advertising

ゲームDXフォーラム-1-

「カゲマス」立役者が語る!

ユーザー獲得とコミュニティマーケティングのツボ

10/24 木
18:30 ▶ 20:30

[場所]
サイバード様本社オフィス
東京都渋谷区猿樂町10-1 マンサード代官山

運営協力

C BIRD
Empower Your Love!

ゲームエイト
Game8

共催・運営事務局

Confidence Interworks

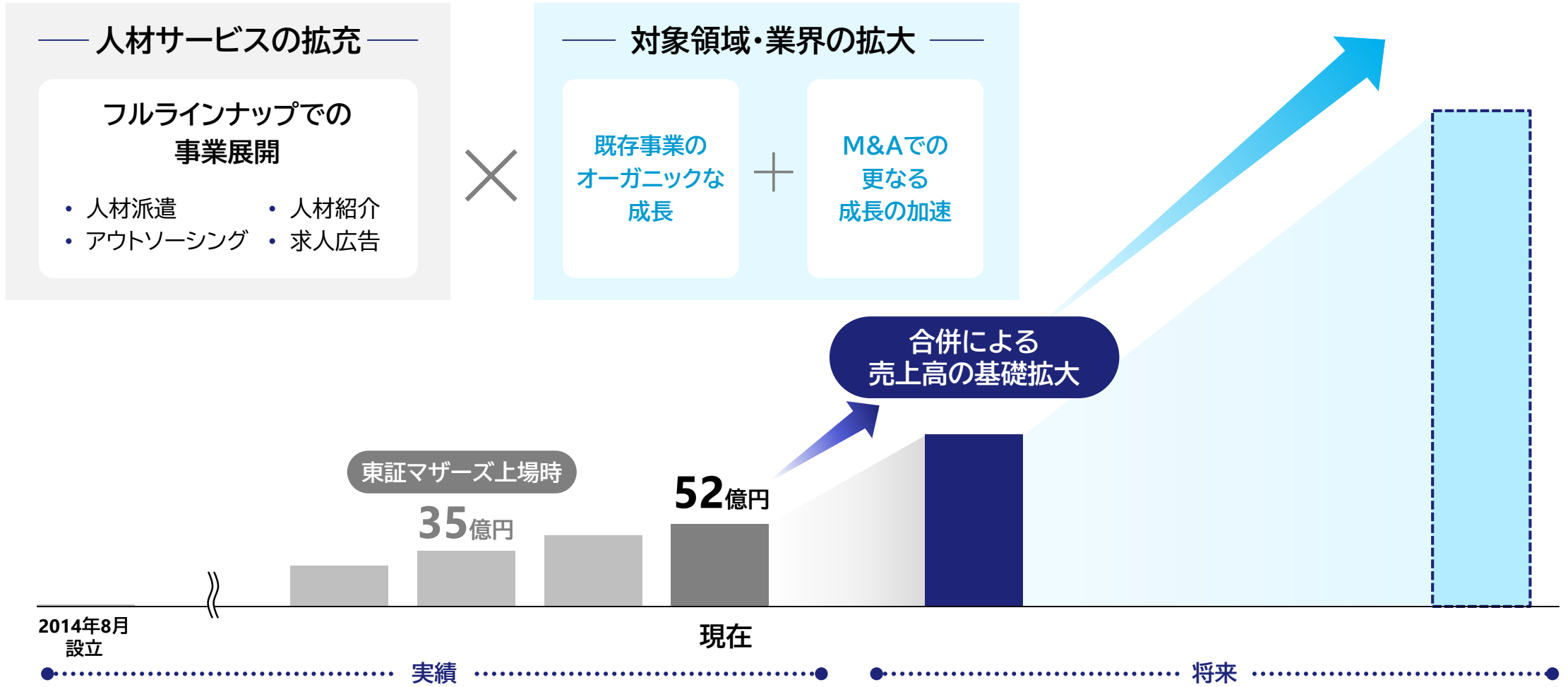
- 今後も、同様のイベント開催の上、ゲーム業界及び関連する市場の発展に貢献

Appendix.

The background features abstract, flowing lines in shades of purple and blue. These lines curve and sweep across the page, creating a sense of movement and depth. The lines are thin and densely packed in some areas, while more sparse in others, contributing to a modern and artistic aesthetic.

[事業計画及び成長可能性に関する事項の再掲] 将来の成長イメージ

- コンフィデンス単独でも上場時から順調に成長を続けていたことに加え、合併による売上高のベースが増加
- 事業規模拡大の過程で、既にプライム市場で上場している会社と勝負ができる企業へ変わることを目指す



*2019年3月期から2023年3月期の売上高5年CAGR(実績) : 26.9%

[全社連結]2024年3月期 業績予想 | 配当予想サマリ

- 2024年3月期の株式会社コンフィデンス・インターワークスとしての業績予想および各種指標は以下の通り
- 合併に伴い一時的に発生する統合関連費用やのれん償却費等の影響を見込んで試算

2024年3月期 通期業績予想

* 株式会社インターワークスを2023年8月1日付で合併したことにより、通期業績予想において、旧インターワークス社のPL数値は8か月分で試算

		2022年3月期 (旧コンフィデンス)	2023年3月期 (旧コンフィデンス)	2024年3月期 (コンフィデンス・インターワークス)	前期比 (対 旧コンフィデンス)
売上高	(百万円)	4,425	5,197	8,000	+53.9%
売上総利益	(百万円)	1,528	1,841	3,718	+102.0%
売上総利益率	(%)	34.5%	35.4%	46.5%	+11.1pts
営業利益	(百万円)	745	933	1,120	+20.0%
営業利益率	(%)	16.8%	18.0%	14.0%	▲4.0pts
経常利益	(百万円)	737	927	1,065	+14.8%
当期純利益	(百万円)	530	617	725	+17.3%
1株当たり当期純利益	(円)	118.19	134.80	118.58	-
1株当たり配当金	(円)	40.0	48.0	55.0	+14.6%

業績予想策定の前提

2024年3月期業績予想・配当予想に関する目標指標

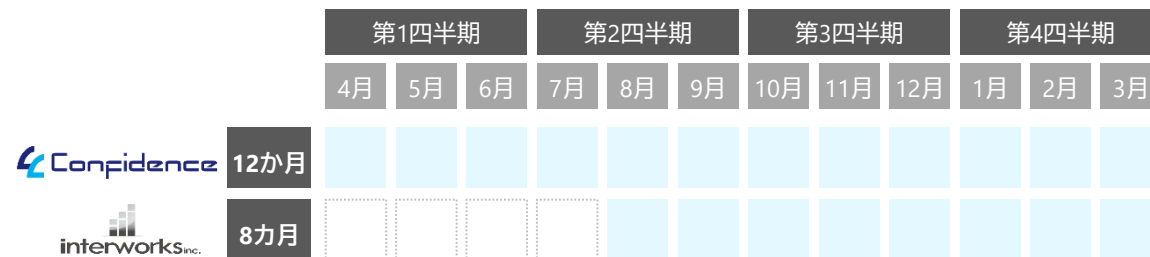
目標指標



2024年3月期:業績予想策定の前提

業績予想策定の前提

- 2023年8月1日が合併の効力発生日のため、旧インターワークスのBSは、2023年7月末残高、PLは、23年8月~24年3月までの8か月分の数値を取り込む
- 統合により一時的に発生する費用、およびのれん償却費を織り込む



- コンフィデンスへ承継するBS残高確定
- のれん総額の算定

のれんの会計処理・考え方

- のれんの算定に関する会計処理(含む無形資産の識別)については、第2四半期において会計監査人との協議の上、最終決定を行う予定
- なお、のれん償却費について、一定の前提を置いた上で当期影響額を試算の上で業績予想の中に織り込む



**Confidence
Interworks**

プロフェッショナルの力と可能性を信じ、共に未来を創り出す

本資料のお問い合わせ先：財務企画本部 IR担当 (ir@ciw.jp)

本資料の取り扱いについて

本資料には、将来の見通しに関する記述が含まれています。これらの記述は、当該記述を作成した時点における情報に基づいて作成されたものにすぎません。さらに、こうした記述は、将来の結果を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。実際の結果は環境の変化などにより、将来の見通しと大きく異なる可能性があることにご留意ください。上記の実際の結果に影響を与える要因としては、国内外の経済情勢や当社の関連する業界動向等が含まれますが、これらに限られるものではありません。

また、本資料に含まれる当社以外に関する情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性、適切性等について当社は何らの検証も行っておらず、またこれを保証するものではありません。